

### 福島第一原発から 30km 以上離れている飯館村に、避難指示が出される

福島県の浜通りと中通りの真ん中、阿武隈山地に飯館村があります。開拓で入植した人達が、農業や酪農をしていたのどかな田園地帯でした。“までい（「手間ひまを惜しまず」「丁寧」「心をこめて」「つつましく」という意味で使われる方言）の村”とも呼ばれていました。「飯館牛」という和牛のブランドを目指していました。過去形なのは、福島第一原発から 30km 以上離れていたこの村が、原発事故のブルームによって、帰還困難区域になってしまったのです。4 月 22 日に計画的避難区域になって、避難指示が出されました。最後の避難が終わったのは、8 月中旬でした。それまで住民は放射線量の高い所で生活していたのです。国の全村避難指示に対して、村長は最後まで反対しました。牛を置いて（殺処分）、自分たちだけが避難することができなかったからです。

飯館村の人達が避難したのが、福島市飯野町でした。飯館村から約 30 分です。2017 年 3 月 31 日に避難指示が解除されるまで、仮設住宅で生活していました。避難指示が解除されて、小中学校が飯館村で再開しても、村民は直ぐには帰村しません。子供達はスクールバスで通学しました。冬は雪道です。

### 福島市飯野町

飯野町は、福島市と南相馬市の間にある町です。県道が商店街の周りにできたので、商店街の街並みには、今でも昔の面影が残っています。靴屋・魚屋・食料品屋・服屋・菓子屋・人形屋・菓屋・電気屋・本屋などの店が並んでいます。人通りが多かったので、町の人に聞いたところ、ほとんどが雛祭りを見に来た人で、普段の商店街は、人もまばらだとのこと。私は街並み歩きが好きなので、気持ちも高まります。飯野町の観光スポットとしては、春夏秋に花が満開になる、“花やしき公園”がお勧めです。また、どういうわけか、UFO ふれあい館や UFO 物産館があります。

### 飯野町のつるし雛まつり

飯野町は、“つるし雛まつり”が有名です。昔は武士や豪商は、端午の節句には何段もの雛飾りで、女の子の成長と幸せを祈りました。しかし、雛飾りを買うことができない多くの農民や庶民は、つるし雛かざりを作りました。祖母や母親が、古着や端切れを使って、孫娘や娘の幸福を願って夜なべをして作ったのです。

「飯野町は以前、絹の町として大いに栄えていましたので、各家庭のタンスに眠っている着物も少なくありません。そうした中で、「もったいない運動」の一環として、眠っている着物を再利用しようということになり、地域の女将さんたちがつるし雛を作り店などに飾ったのが、この祭りの始まりです。」(パンフレット)

パンフレットには、食事処として、「えびすや」(お弁当各種 350 円～)・「松崎魚店」(日替わり弁当(お惣菜) 300 円～)・「鮪龍」(板長のおまかせにぎりランチ 1,320 円)などがあります。まさしく庶民の街です。



【雛ふれあい交流館（福島市飯野町） [2023年3月4日撮影]】



【宗形屋書店（福島市飯野町） [2023年3月4日撮影]】